



あつと言う間に今年もクリスマスシーズンとなりました。皆さんにとって素敵なクリスマスをお迎えくださいますよう、お祈り申し上げます。

わたくしも主教按手を受けて、早や二ヶ月が過ぎました。按手式では教区内外から数多くの皆様方に遥々お越しください、篤い祈りと祝意をいた

主教 バジル 八代 智



神のおとずれ

日本聖公会 神戸教区報



2025年
12月号
クリスマス号

発行所

神戸教区事務所

TEL 078(351)5469

FAX 078(382)1095

<https://www.nskk-kobe.org/>



発行責任者

司祭 林 和 広

印刷所

文明堂印刷所

えることが出来そうです。入江主教様も説教の中でおっしゃっておられました。が、天使ガブリエルが聖母マリアに受胎告知をした物語の中で、戸惑いながらもマリアは「Let it be」「お言葉通りこの身になりますように」と、天使のお告げを受け入れました。

詳細は記されておりませんが、この時マリアもきつと物凄く不安を感じたのではないのでしょうか。人間誰しも未知の世界や将来我が身に起こるであろう未来を前に、とてつもない不安や恐れを感じるものです。とくに命懸けの妊娠出産となれば、すでにお子さんを産んだ経験のある女性でも大きな不安を感じることでしょう。にもかかわらず聖母マリアは、

アはまだ十代であったと思われませんが「Let it be」と、近い将来我が身に來たるであろう運命を素直に受け入れたのです。わたしたち、またわたしたちの教区や教会もこの先様々な不安や心配に包まれることがあるでしょう。でもそのような時にこそ、聖母マリアの「Let it be」の信仰を持続したいものです。「Let it be」は、周知の通り、世界的に有名なビートルズが一九七〇年にリリースした大ヒットソングのタイトルです。ビートルズの中でも特に人気のあったジョン・レノンが、ニューヨークで暗殺されて今年で四五年目のクリスマスを迎えることとなります。が、ジョンの妻であったオノヨーコさんが、かつてあるエッセイの中で次のように書いておりました。「夫ジョンのような有名人でも、その人生の中で友だちと言える人と出会えたのはわずか五千人ぐらいでしょうか」。今や地球人口は七〇億人とも言われておりますが、計算しやすいように仮にわたしたちの生涯で出会えた友だちが七千人だとしますと、わたしたちが生きている間に出会える友だちは何と、百万人に一人だけなのです。世界中の九九万九千九百九十九人の人々とは、お互いに知り合うことなく互いの人生を終えることになるのです。それだけにわたしたちは、これからも出会うであろうすべての出合いを大切にしたいものです。一人の友との出合いの背後に九九万人もの命の重みがあるんだということを覚えて、來たるべきクリスマスをサンタさんのような満面の笑顔で共に迎えたいですね。

(神戸教区主教)

徳山聖マリア教会 ☆ 徳山めぐみ幼稚園 「クリスマスを迎える準備の始まり」

ヴェロニカ 村田 佳奈（教会信徒・幼稚園長）



当教会で真っ先に行うクリスマスの準備は、主日礼拝後のすす払いです。老いも若きも総動員で教会内外を大掃除し、続いてSSのメンバーを中心にクリブやキャンドルなどを配置します。また礼拝堂入り口の高い所にはリースが掛けられます。これは信徒が自宅の庭から調達した月桂樹やローズマリーを土台とした手作りリースです。礼拝堂の扉を開けると、新鮮で大ぶりのリースが放つ癒やしの香りが頭上から降り注ぎます。その優しい香りを胸いっぱい吸い込んで幸せな気持ちでクリスマスシーズンの到来を感じる、これがクリスマスを迎

える準備の中で信徒のお楽しみのひとつになっているのではないかと思います。幼稚園での準備の始まりは、なぜクリスマスを祝うのかを園児に知らせ、保護者に説明するところからスタートします。教室で昨年のクリスマス会のDVDを見て、各学年がどんなお祝いをするのかをイメージします。子どもたちは、どんなクリスマスソングを歌うの？どんな曲でおゆうぎするの？私の役は？衣装は？と、期待に満ちて先生の話に耳を傾けます。配役発表の場面では、配役と名前が告げられるたびに仲間から拍手が送られ、「嬉し恥ずかし幼



心」の内に、自分に与えられた役割でクリスマスを祝うんだ、という気持ちが芽生えてきます。この一連の流れは、毎年繰り返しされる準備の始まりではありますが、先生たち

は目の前の子どもたちの個性と育ちを重ね合わせ、今年ならではの祝福に思いを込める、そんな「今年のクリスマスへの思い」という準備もスタートします。

今の教会メンバー、今の子どもたちと共に祝う今年のクリスマス、どんな感じになるのか待ち遠しく思います。準備を重ねてクリスマスの日を迎え、教会でも幼稚園でも喜びの内に祝っている私たちの姿を想い描きながら、クリスマス2025の準備を進めたいと思います。



「宣教150年記念事業委員会」

③

委員長 司祭 バルナバ 瀬山 会治

「コンセプトとビジョン」

皆さん、こんにちは。今月は「宣教150年記念事業委員会」についてお伝えいたします。記念事業委員会は、準備委員会の後を受け、今年9月に開始されました。第94(定期)教区会で準備委員会が報告しているように、コンセプト(骨子)は以下の通りになります。

「150年を単なるお祝い、お祭りをするのではなく、この宣教150年の記念礼拝を通して今までの先達たちの功績に感謝し、神戸教区内の各教会は、この10年間を振り返り、ここから宣教160年の未来に向けての新たな宣教のスタートと位置付けるビジョンと使命を神戸教区として示したい。記念礼拝では多様性と地域性を重視したものと、感謝と未来に向けての希望を表現する記念行事とした」さらに宣教150年のビジョン(未来像)としては、「ともに聴き 分ち合い 伝えていこう、イエスさまの福音を」が定められています。

コンセプトとしては、今、私たちがここにいることができるのは、神さまと教区・教会の先達たち働きがあったことであり、その感謝はとて大きなものです。さらに将来の教区・教会の人びとのために今、私たちができることを宣教の働きとして前進していかねばなりません。教会の現状は大変厳しいもので

はありますが、私たちの教会、一人ひとりにイエスさまから託されている「宣教」と言う使命を諦めず、一歩ずつ進めていく必要があります。そして、そのために、この150年記念事業が神戸教区の一致となり、各教会の活性化の起爆剤となれば幸いです。

人権担当者からの報告

③

フランチ 東 弘彦(神戸聖ヨハネ教会)

人権とは、重い言葉です。今まで受けてきた学校教育の中で、人権は守られ、大切にされるべきもの、立場を変えれば、守り、大切にすべきものであると教えられました。ただ、人権問題についてことさらに強い問題意識を持つて過ぎたわけではないと思います。ただ、今の自分には問題を掘り下げただけの十分な知識も見識もありませんし、意見の違いが生じる可能性もあります。

キリスト教会が人権を問題として取り上げようとするとき、比較的対応しやすい事柄もあれば、関わり方を慎重に

しても役割を果たさないとはいえないのではないかと、という気持ち湧いてきました。本来であれば、教区内のみならず、皆さんに対する講習なり研修なりができればそれに越したことはないと思います。ただ、今の自分には問題を掘り下げただけの十分な知識も見識もありませんし、意見の違いが生じる可能性もあります。

キリスト教会が人権を問題として取り上げようとするとき、比較的対応しやすい事柄もあれば、関わり方を慎重に

考えることが必要なこともあると思います。

そのようなことから、今回は研修の報告だけでもさせてもらいたいと思った次第です。

研修中の講師のお話で、心に残ったことが二つあります。一つは、差別の気持ちはされる方も束縛するし、逆にする方も束縛する、ということ。もう一つは「寝た子を起こすな」という態度は誤りであり、そのままと同じことを起こしてしまうということ。歴史上起こったことをきちんと学び、それ乗り越えていかないと進歩はないのです。話は逸れますが、同じことが第二次世界大戦についても言えると思います。歴史から学ぶべきことは多いと思います。

なお、管区主催の研修会のほかに、西日本宣教協働区の神戸、九州、沖縄の各教区担当者で定期的に遠隔で会合を持ち、情報を交換し合っていることも付記しておきます。



鳩だより

《敬称略》

祝 堅 信

10月13日（月・祝）

リベカ 笠井 香里
 タダイ 中井 堅一朗
 ジョージ 長田 時記
 神戸昇天教会

ご 逝 去

8月30日（土）

マリ ア 勝部 正子
 神戸聖ミカエル教会

9月8日（月）

ハン ナ 速水 聖子
 広島復活教会

10月23日（木）

ル カ 速水 環
 広島復活教会

10月30日（木）

マリア 大平 裕子
 明石聖マリア
 ・マグダレン教会

瀬戸内伝道区

信徒修養会2025

2025年10月25日（土）

13時半から15時にかけて、瀬戸内伝道区信徒修養会が高松聖ヤコブ教会で開催されまし

1月の教区関係教役者
逝去記念聖餐式

日時 2026年1月8日（木） 午前10：30

場所 神戸聖ミカエル大聖堂

司式 主教 八代 智

説教 司祭 中原 康貴

どなたでもいらしてください

＊1月の記念逝去教役者

1日	司 祭	ウィリアム	グ レ イ
1日	伝道師		竹 田 は る え
3日	司 祭	パウロ	辻 井 享
3日	司 祭		横 田 金 熊
3日	主 教	ウィリアム	オードレ
4日	司 祭	ヨハネ	中 道 政 昭
5日	司 祭	ステパノ	福 島 国 五 郎
6日	伝道師	ルデア	武 田 八 重
6日	司 祭	ヨシュア	小 南 晶 一
10日	司 祭	オーガスチン	林 普 佐 夫
11日	宣教師	ジェシー	ヴ ォー ルズ
12日	司 祭	ヨハネ	信 岡 修 吉
12日	宣教師	ステラ	ダ ブ ル デ
15日	司 祭	ヨハネ	寺 本 房 吉
15日	司 祭		中 野 忠 治
16日	伝道師	クララ	村 瀬 之 都
17日	司 祭	ヨハネ	八 代 欽 允
18日	宣教師	エセル	ヒ ュ 一 ス
18日	伝道師	マリア	津 口 和 子
19日	司 祭	ペテロ	宇 野 秀 太
19日	主 教	アーサー	リ 一 郎
19日	伝道師		今 泉 穎 子
21日	司 祭	ジョン	バ ー 治
22日	司 祭	オーガスチン	小 林 貞 三
25日	司 祭		大 原 辰 子
26日	伝道師	サロメ	飯 塚 マ 人
27日	執 事		秋 田 温 澄
27日	司 祭		松 田 真 幸
27日	伝道師		今 村 有 任
27日	伝道師		山 下 久 吉
30日	司 祭		

た。講師に来年、退職される芳我秀一司祭をお招きし、「人生最強のパートナー」という主題で講話をしていただきまし。芳我司祭のご自身の体験を通じた講話は感動的で、特に「あきらめず、祈り続けること。自分の力では何もできない。神様にお任せすること」というメッセージは心に強く響きました。八代智主教様ご夫妻も出席され、約20名参加しました。

「震災の絵」のストーリー
ブック、できました。

1995年1月17日、阪神・淡路大震災により被災した神戸聖ヨハネ教会。地震により気づいたこと、大切にしなければならなかったことを残すべく、15年目に当たる2010年1月17日の記念礼拝に向けて、震災の壁画を作成しました。以降、毎年1・17前後にはこの絵と共に礼拝を献げていま

す。2024年、アルミ板に画像を焼き付ける形で複製を行い、この度、絵に描かれている場面の解説や、込められた思いを1冊の本にまとめました。震災のことを次の世代へと伝えるために役立てばと思っています。

定価1980円（税込）
 ＊英訳付き
 全国のキリスト教書店でお取り扱いしています。